

諫 早 市 要 望 書

平成26年7月

特別要望

スポーツ拠点施設整備への支援について



V・ファーレン長崎サポーター応援状況



諫 早 市

要 望 書

長崎がんばらんば国体・がんばらんば大会の開催、さらには、長崎県立総合運動公園陸上競技場をホームスタジアムとするV・ファーレン長崎のJリーグでの活躍は、本県のスポーツ施設を活用した地域活性化を押し進める絶好の契機であります。

平成25年3月からJ2リーグに参入したV・ファーレン長崎は、「長崎市、諫早市を中心とした全県」をホームタウンとし、昨シーズンはJ1昇格プレーオフに進出する好成績を収め、ホームゲーム21試合で約13万人の観衆を集めました。2年目となる今シーズンもJ2リーグで健闘を見せており、J1昇格への県民の期待が大きくなっているところです。

しかしながら、チーム強化に欠かせない練習場については、諫早、島原、雲仙、長崎、大村各市の施設を借用している状況です。ホームスタジアム及び事務所があり、多くの選手が在住している諫早市に練習場を確保すれば、V・ファーレン長崎の大きな力となります。

本市は、V・ファーレン長崎の練習拠点となるサッカー場の整備計画を検討しているところですが、天然芝グラウンド、管理棟、駐車場等の事業費が大きいことから、ホームタウンとして県の支援が無ければ適切な整備は困難だと思われまます。

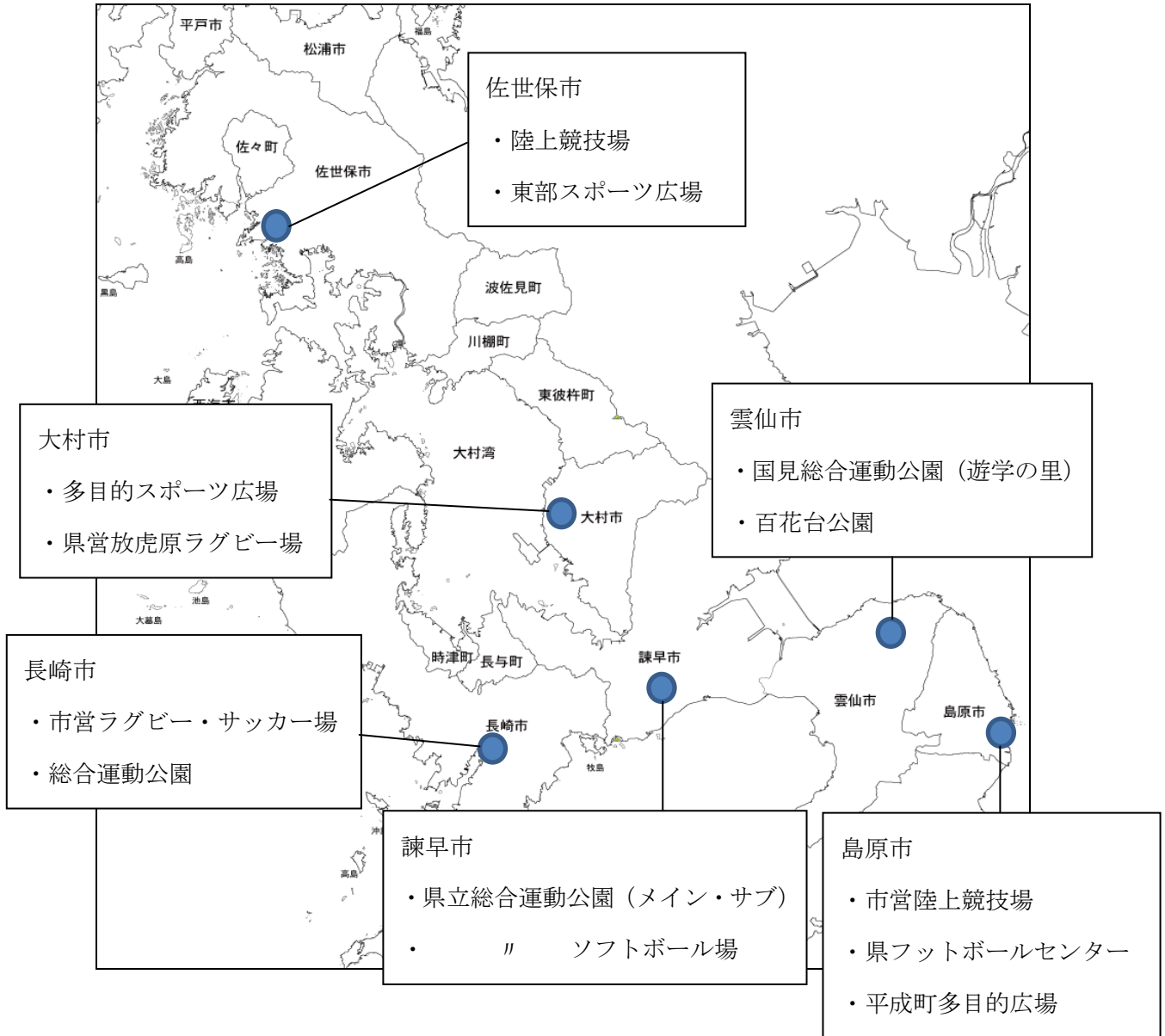
つきましては、本市をはじめ県内におけるスポーツの振興、ひいてはスポーツ交流人口の増加による経済効果の拡大のため、本市に新たなスポーツ拠点施設を整備することについて、特段のご協力とご支援をいただきますようお願いします。

平成26年7月

諫 早 市 長 宮 本 明 雄

諫早市議会議長 村 川 喜 信

V・ファーレン長崎の練習場



V・ファーレン長崎ホームゲーム



諫早市地域交流事業 (みはる台小学校)

